

議会

だより

126

3月定例議会号

令和3年5月

発行 佐呂間町議会



TOPIC

町政について議員が問う

一般質問「移住・定住（Uターンなど）への支援策について」など
まちで輝いている人たちを紹介します

みんなの笑顔でまちを元気に！「佐呂間町ブルームボール協会」の皆さん

特集 まちの予算をみる

新年度町はどんなことをするのか予算の使い道を徹底審議！

令和3年度当初予算審議

＜春を待つビートの苗＞

ビニールハウスの中ではビートの苗たちが青々と育ち、畑の雪解け後に行われる移植に向けて作業が行われていました。
(令和3年3月30日撮影)



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第1回定例会

・審議した議案②

- 【主な歳入】
 - ・特別養護老人ホーム利用料 1268万円
 - ・一般会計繰入金 ▲2788万円
 - 【主な歳出】
 - ・給料（一般職） ▲510万円
- 【主な歳入】
 - ・令和2年度介護サービス事業特別会計補正予算（第3号） 675万円が減額され、予算の総額が2億5573万円になりました。
- 【主な歳出】
 - ・施設介護サービス給付費 984万円
 - ・介護給付費繰入金 2122万円
- 【主な歳入】
 - ・令和2年度介護保険特別会計補正予算（第4号） 1376万円が追加され、予算の総額が5億4395万円になりました。
- 【主な歳出】
 - ・下水道管理センター設備改修工事 ▲1340万円
- 【主な歳入】
 - ・令和2年度介護保険特別会計補正予算（第4号） 1376万円が追加され、予算の総額が5億4395万円になりました。

- 【主な歳入】
 - ・令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 238万円が減額され、予算の総額が9392万円になりました。
- 【主な歳入】
 - ・事務費繰入金 ▲114万円
- 【主な歳出】
 - ・後期高齢者医療広域連合保険料等負担金 ▲179万円

条例

選挙公営制度導入



町議会議員及び町長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定。地方議会での議員のなり手不足が深刻化していることから、町村選挙における立候補環境を改善するため、これまで都道府県や市を対象としていた選挙公営制度を町村にも

選挙公営制度
選挙公営制度とは、お金の掛からない選挙の実現及び選挙に立候補した候補者間の選挙運動の機会均等を図るため、国や地方公共団体が選挙運動の費用の一部を負担する制度です。

この条例の制定により、今後行われる町議会議員選挙及び町長選挙において、次の経費について条例の定める範囲内で町が費用を負担します。

- ① 選挙運動用自動車の使用
- ② ビラの作成
- ③ 選挙運動用ポスターの作成

■ 防災会議条例の一部改正
防災会議委員の追加及び委員の名称変更を行うため、条例の一部を改正するものです。

■ 総合介護条例の一部改正
平成30年度及び令和2年度税制改正により、介護保険料

等に不利益が生じないよう、国において介護保険法施行令等の改正が行われたことに伴い、関係する町の条例を改正するものです。

■ 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正

■ 国の社会保障審議会介護給付費分科会の審議を踏まえ、令和3年度の「指定居宅介護支援等の事業」及び「指定介護予防支援等の事業」の基準に関する関係省令の改正が行われたことから、関係する町の条例を改正するものです。

なお、この2つの条例の改正内容はほぼ同様ですが、前者は、介護サービス利用者に適用される条例であり、後者は介護予防サービス利用者に適用される条例です。

第1回定例会

・審議した議案①

第1回定例会が3月4日から11日の間で開催され、議案24件、承認1件、同意3件、発議1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。
(令和3年度当初予算については6～10項の「特集 まちの予算をみる」をご覧ください。)

- 【主な歳入】
 - ・町民税（現年度課税分） 4572万円
 - ・普通交付税 1億1410万円
 - ・社会資本整備総合交付金 ▲2797万円
 - ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 8058万円
 - ・水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金 1億4351万円
- 【主な歳出】
 - ・ふるさと応援事業寄附金 ▲1億2000万円
 - ・財政調整基金繰入金 ▲2億7400万円
 - 【主な歳出】
 - ・ふるさと応援事業基金積立金 ▲3000万円
 - ・公金クレジット決済手数料 ▲1198万円
 - ・ふるさと納税業務代行委託料 ▲6746万円
 - ・クリニックさろま運営費負担金 6264万円
 - ・水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金 1億9051万円
 - ・若里基線道路改良舗装工事 ▲3841万円
 - ・遠軽地区広域組合負担金(消防費) ▲1874万円

- 【主な歳入】
 - ・令和2年度簡易水道特別会計補正予算（第3号） 4302万円が減額され、予算の総額が3億1062万円になりました。
- 【主な歳入】
 - ・若佐簡易水道区域拡張事業費補助金 ▲1004万円

- 【主な歳入】
 - ・令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 4万円が追加され、予算の総額が8億9262万円になりました。
- 【主な歳入】
 - ・令和2年度公共下水道特別会計補正予算（第4号） 1732万円が減額され、予算の総額が2億2725万円になりました。

- 【主な歳入】
 - ・公共下水道事業費補助金 ▲685万円
 - ・公共下水道事業費 ▲920万円

予算

審議した議案

■ 令和2年度一般会計補正予算（第10号）
9882万円が減額され、予算の総額が64億7638万円になりました。

■ 令和2年度一般会計補正予算（第11号）
100万円が追加され、予算の総額が64億7738万円になりました。

■ 令和2年度簡易水道区域拡張事業費補助金 100万円

■ 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
4万円が追加され、予算の総額が8億9262万円になりました。

新型コロナウイルスワクチン接種に向け、必要経費を予算補正

地方議会議員のなり手不足解消のため
選挙運動費の負担を軽減する選挙公営制度を導入

第1回定例会

- ・審議した議案④
- ・町長行政報告

第1回定例会

- ・審議した議案③

■国民健康保険条例の一部改正
平成30年度税制改正において、令和3年1月1日から個人所得課税が改正されたことにより、国民健康保険税の負担に不利益が生じないようにするため、また、一定の給与所得者等が2人以上いる世帯が、国民健康保険税の軽減措置に該当しにくくなることを防ぐため、地方税法等の改正が行われたことから、町の条例においても軽減判定の見直しを行うものです。

■水産基盤整備事業分担金徴収条例の制定
北海道が施工する漁港整備事業及び漁場整備事業に対し、本町が負担する地元負担金のうち、受益者（漁組等）が負担する分担金を徴収するために必要な条例を制定するものです。

なお、本条例を制定することにより、内容が重複する既存の漁港・漁場の整備に関する分担金徴収条例については、本条例に一本化または廃止されます。

■議会会議規則の一部改正
議員活動と家庭活動の両立支援や男女の議員の活動しやすい環境整備等のため、「標準」町村議会会議規則が改正され、本町議会の会議規則について改正するものです。

主な改正の内容は次のとおりです。

- ①欠席の届出理由
議員が議会を欠席する理由について、複数の理由をまとめて「事故のため」としていたものを、「公務・傷病・出産・育児・看病・介護・配偶者の出産補助・その他のやむを得ない事由」と欠席の事由を整備します。
- ②産休の日数
議員の出産に伴う欠席の期間について、「日数を定めて」としていたものを、「産前6週、産後8週」の期間を定めます。
- ③請願書の記載事項等
議会に請願書を提出する際に、請願者の「押印」が必ず必要だったものを、「署名又は記名押印」に改めます。

■オホーツク町村公平委員会委員の選任同意
オホーツク管内13町村4組合が共同で設置し、地方公共団体職員勤務条件や不利益処分に関する審査を行うオホーツク町村公平委員会委員として、次の方の選任について同意しました。

◎訓子府町 佐藤明美氏

任期については令和3年4月1日から令和7年3月31日までの4年間となります。

■固定資産評価審査委員会委員の選任同意
固定資産の価格に関する不服申立てを審査する固定資産評価審査委員会委員として、次の方の再任について同意しました。

◎幌岩 齊藤則雄氏

任期については令和3年3月30日から令和6年3月29日までの3年間となります。

同意

■第36回サロマ湖100kmウルトラマラソンの中止
本年6月下旬に開催予定の第36回サロマ湖100kmウルトラマラソンについて、令和3年2月25日に開催した実行委員会で開催中止が決定されました。

昨年に引続き2年連続の中止となりますが、選手の密集回避や、ボランティアスタッフの安全に協力いただける環境ではないことが判断ポイントとなりました。

なお、昨年中止された第35回大会へ申込のあった選手には、第36回大会の出場権を付与していましたが、今後大会開催の方向性を見直す可能性があることから、出場権については一度リセットし、第37

■農業委員の任命同意
担い手への農地利用の集積など、農地に関する事務を執行する行政委員会である農業委員会の委員のうち、農地の売買などで利害関係を有しない中立委員として、次の方の任命について同意しました。

◎永代町 山田裕之氏

任期については令和3年3月11日から令和5年7月19日までとなります。

その他

■ワクチン接種に係る予算補正
令和2年度一般会計補正予算（第9号）の専決処分について承認しました。

201万円が追加され、予算の総額が65億7520万円になりました。

【主な歳入】
・新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業費補助金 201万円

■専決処分の承認
令和2年度一般会計補正予算（第9号）の専決処分について承認しました。

201万円が追加され、予算の総額が65億7520万円になりました。

【主な歳入】
・新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業費補助金 201万円

回大会の参加者を募ります。実行委員会事務局にて今後大会運営について協議していきます。

■新型コロナウィルス感染症拡大に伴う各種経済対策
秋季におけるプレミアム付全町共通商品券については、10月4日から12月18日まで販売し、1945世帯に1億1130万円を売り上げ、プレミアム率50%を加算し、商品券1億6695万円を発行しています。

商工業経営維持支援補助金は、1月末までに51事業所に対し、168カ月分、1918万7144円を交付しています。

宿泊業活性化補助金については、町内7事業者において昨年7月から本年1月まで、延べ4178人の宿泊者があり、1336万9600円の補助金を交付しています。



コロナ禍の中でも安全な大会運営が求められています



■公共事業の執行状況
令和2年度の工事と委託の事業については、総事業件数65件、総事業費7億8600万円が発注されました。

適時の発注に努めたこともあり、現在までに多くの事業が順調に完了しています。

【主な歳出】
・健康かるてシステム改修業務委託料 82万円
・予防接種に要する経費 187万円

■佐呂間コミュニティセンターに係る指定管理者の指定
佐呂間コミュニティセンターの指定管理者として、佐呂間町商工会を指定した期間が令和3年3月31日で終了することから、引き続き商工会を指定管理者とすることを決定しました。

・管理を行わせる施設 佐呂間コミュニティセンター
・指定する指定管理者 佐呂間町商工会
会長 高橋俊道
令和3年4月1日から
令和13年3月31日

■町道路線の認定
町道西富31号10線道路の富美橋近くから、ホクレン北見地区総合家畜市場及び農協施設へ通じる道路について、町道として認定しました。

・路線名 西富9・10線中間道路

ことしの主な事業

佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金など 佐呂間高校の存続対策に関する各種新規事業を実施

一般会計は前年度比マイナス 1.2% 6081万円の減額

佐呂間高校の存続対策

近年の少子高齢化により、入学者が減少している佐呂間高校の存続対策として、各種助成事業を新規に実施します。

■佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金
佐呂間高校を卒業し、大学・短大・専門学校へ進学する者に対し、修学年限を限度に、返済不要の修学資金を毎年助成します。

◎事業内容

- 大学 年額50万円×7名分 350万円
- 短大・専門学校 年額25万円×8名分 200万円

■佐呂間高等学校卒業生就職等応援給付金支給事業
佐呂間高校を卒業し就職する者及び就職準備のため佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金の対象とならない学校へ



新規事業により入学者の増加が期待される佐呂間高校

進学する者に対し、就職等の準備を応援するため給付金を支給します。

◎事業内容

- 1人10万円×11名分 110万円

■佐呂間高等学校入学者給付金支給事業
佐呂間高校へ入学した生徒に対し、高校生活における様々な活動に必要な資金として給付金を支給します。

◎事業内容

- 1人10万円×27名分 270万円

その他の主な事業

- 地域おこし協力隊設置事業
地域おこし協力隊員の募集 285万円
- 市街街路灯取替工事
佐呂間市街地の街路灯の一部をLEDに変更 4180万円
- ふれあいバス購入事業
老朽化した知来・仁倉線の中型バスをマイクロバスに更新 1194万円
- 高齢者ハイヤー乗車料金助成事業
85歳以上の高齢者及び自動車運転免許証返納者の、町内でのハイヤー乗車料金の一部を助成 559万円
- デイサービスセンター特殊浴槽購入事業
車いす対応の浴槽購入に対する助成 700万円
- 若佐歯科診療所治療機器購入事業
口腔内3D画像撮影装置等の購入 1590万円
- 合葬墓新設工事
佐呂間墓地に合葬墓を新設 1413万円
- サロマ湖展望台改修工事
施設設計業務委託
令和3年度から行われる老朽化したサロマ湖展望台改修工事の実施設計 295万円
- 床丹川緊急浚渫推進事業
若里地区を流れる床丹川の堆積土砂の撤去 240万円
- トップウシベツ川防災対策事業
富士土地区を流れるトップウシベツ川の改修工事のための調査設計 620万円
- 町民センター配管改修工事
老朽化した給水・配水管の改修 1570万円
- 学校給食費の無償化
町内の小・中学校に通学する、児童生徒の給食費を無償化 1524万円

特集 まちの予算をみる

令和3年度 当初予算

令和3年第1回定例会において、次の当初予算が提案されました。

- 令和3年度一般会計予算
- 令和3年度簡易水道特別会計予算
- 令和3年度国民健康保険特別会計予算
- 令和3年度公共下水道特別会計予算
- 令和3年度介護保険特別会計予算
- 令和3年度介護サービス事業特別会計予算
- 令和3年度後期高齢者医療特別会計予算

提案された各会計予算について、議長を除く9名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、付託して審議を行うことを決め、8日に開催された特別委員会では委員長に土田委員、副委員長に但木委員を選任し、9日に集中審議を行った結果、原案可決しました。

その後、11日の本会議において、土田委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、原案のとおり可決しました。

予算特別委員会 3月30日・31日

令和3年度 各会計当初予算

会計区分	3年度当初予算	2年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	51億5480万円	52億1561万円	▲6081万円	▲1.2%	
特別会計	簡易水道	3億5321万円	3億5321万円	3249万円	9.2%
	国民健康保険	8億3235万円	8億9052万円	▲5817万円	▲6.5%
	公共下水道	2億9345万円	2億4291万円	5054万円	20.8%
	介護保険	5億2679万円	5億2412万円	267万円	0.5%
	介護サービス事業	2億6705万円	2億5896万円	809万円	3.1%
	後期高齢者医療	9777万円	9136万円	641万円	7.0%
合計	75億5791万円	75億7669万円	▲1878万円	▲0.2%	

予算特別委員会委員長報告 (要旨)

令和3年度は第5期町総合計画の初年度であり、これらの計画などと整合性を図った予算編成であるか、コロナ禍の影響もあり財政状況が厳しい中、最小の経費で最大の効果が図られる施策・事業となっているかなどに重点をおき、審査を行いました。

歳入については予算の46%を占める地方交付税は増額を見込んでいますが、収支のバランスは各種基金の繰り入れにより図られているのが実情です。

歳出については新たな行政課題も考慮し、事業の必要性・妥当性に十分な配慮がなされています。

地方が自らの判断と責任において課題に取り組むことは当然であり、緊急性・将来性・効率性などの精査を行い、安定的な財政運営を願うものであります。

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

令和3年度予算の
使い道を徹底審議！

予算特別委員会質疑の中から

総務費

役場職員の研修

佐藤 職員研修の予算について、パワーハラスメントに関する研修は行われていますか。

副町長 現在役場においてパワーハラスメントはないと認識していますが、今後状況を見ながら対応しなければならぬと考えています。

三田 同じく職員研修の予算について、現在職員研修は年に何回実施され、何名が参加していますか。

総務課長 課長職研修が年2回実施され各1名が参加、その他北海道市町村研修センターが実施する各種研修に10名、管内町村会が実施する各種研修に20名、市町村振興協

会が実施する道外研修に1名の参加を予定し、予算を計上しています。

マイナンバー カードの状況

三田 社会保障・税番号制度安全管理措置対応支援業務委託料について、本町のマイナンバーカードの発行状況は人口の何パーセント程度でしょうか。

町民課長 令和3年2月末時点で、申請件数は約18%、実際に交付されているのは約15%となっております。

女満別空港に 関する負担金

但木 女満別空港整備・利用促進協議会負担金について、予算額が昨年から3倍に増えています。これは新型コロナウイルス感染症の影響でしょうか。

企画財政課長 女満別空港へのLCC（格安航空会社）就航に対する支援のため、LCCが運航するために必要な経費について、今のところ3年間の予定で、協議会として支援していきます。

地域プロジェクト マネージャー

佐藤 令和3年度予算に地域おこし協力隊の募集に関する予算が初めて計上されましたが、総務省では令和3年度から新たに、地域プロジェクトマネージャー制度を創設しました。こちらについても採用を考えてはどうでしょうか。

「地域プロジェクトマネージャー制度」とは
地方公共団体が重要なプロジェクトを実施する際に、関係者間の橋渡しを行いプロジェクトをマネジメントする人材を任用する制度。
地域の実情に理解があり、専門的な知識を有するものとされ、地域おこし協力隊のOB・OGなどがその対象と想定されており、地域プロジェクトマネージャーは都市部から地方へ移住することが求められます。
なお、その雇用に関する地方公共団体の経費については、国から特別交付税が措置されます。

民生費

保育士の充足状況

高橋 常設保育所の予算に關連して伺います。現在の入所児童数に対する保育士の充足率は、基準を満たしていますか。また、今後の待機児童の発生の見通しについてどのようになっていますか。

保育所長 入所児童数に対し必要な保育士の人数は国で基準が定められており、本町は現在国の基準は満たしていますが、実際のところ子供の安全確保のためには、国の基準どおりの人数では保育士の数が足りないことから、代替保育士を雇用して対応しています。待機児童については、将来的にも発生しない見通しとなっております。

農林水産業費

特産品の開発研究

小松 地場産品開発研究センターに関する予算に關連して伺います。個人的に聞いた話ですが、東京農大

では町からの要請があれば、佐呂間に適した生産物や加工品の研究について協力すると聞いております。このような大学との連携についてどのように考えられますか。

町長 今後は食品の開発に關わらず、大学など専門的な研究機関との連携を深めていきたいと考えています。

公共牧野の維持

但木 公共牧野の予算に關連して伺います。現在公共牧野は町内の酪農家の戸数に対し、どのくらいの割合で利用されていますか。また、今後も牧野は現状を維持しているのでしょうか。

農務課長 公共牧野の酪農家戸数に対する利用率は不明ですが、入牧頭数は年によって増減があり、下降傾向にはありますが、極端に減少しているわけではありません。今後の牧野の維持については、何十年も行われていない草地更新と、牧野監視員の高齢化による人材の確保が課題となっております。

サロマ湖の環境対策

佐藤 水産業振興費について、サロマ湖の環境対策に関する目新しい事業はないようですが、今後どのような取り組みを考えていますか。

経済課長 水質汚染防止対策として、モニタリング調査や水質監視を北海道と協力して通年で実施するなど、関係団体と連携して対応しており、ここ10年で際立った水質悪化は見られていません。

商工費

今後の観光案内

但木 観光案内看板撤去工事について、町内に複数ある老朽化した観光案内の看板を撤去し、その後の情報提供については今後検討すると聞いていますが、具体的な対策はどのように考えていますか。

消防費

消防団の状況

加賀屋 消防費に關連して、町内の消防団員の人数及び報酬について伺います。また火災等で消防団員が出勤する際、最低何人集まれば出勤できるのでしょうか。

総務課長 現在、消防団員は本部付4名、第一分団（佐呂間）46名、第二分団（浜佐呂間）24名、第三分団（若佐）32名、女性部14名の合計120名が所属しており、役職に応じた報酬が年額で支給されるほか、災害や演習などへ出勤するたびに、内容に応じた金額の報酬が支払われています。

第1回定例会

第1回定例会

3名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

・一般質問①

・特集 まちの予算をみる

一般質問

【答弁】(町長)
町内での様々な業種における人材不足、後継者不足への課題は十分に理解し、今後は移住、定住対策を進めていかなければと考えています。
ーターン、Uターン者は大変な人材であり、そのためには町への愛郷心を醸成し、若者にふるさとへの帰郷を考え

【質問】
佐呂間高校生への色々な支援制度が創設されましたが、一方で町内の様々な業種において後継者不足が問題となっています。人口減少対策や町の活性化を図るためにも、町にUターンしてくる方々への支援策としてどのような考えをお持ちなのか伺います。



高橋 紀久 議員

移住・定住(Uターンなど)への支援策

【質問】
現在のコロナ禍の中、都会の喧騒から離れ、地方に移住する方を積極的にこの町にも迎え入れるべきだと感じ、移住、定住者を掘り起こす具体的

てもらう精神的な要素も重要と考えています。
現在は商工業活性化補助金制度、農業後継者育成支援対策事業制度などがあり、今後は、大型自動車運転免許等取得補助制度の第一次産業従事者などへの拡大を検討していかなければと考えています。
町に戻ってきた方をどのようにに捉えるかで、単純に転入してきた方からといって支援するということ基準を決めるのも難しいと考えています。

町長：現在の補助制度を継続し移住・定住対策を積極的に進める

人口減少、後継者不足、住宅不足問題解決となるための支援策は

移住・定住についての支援は、一過性の支援だけではなく、佐呂間町に安心して住み続けられることができれば

【答弁】(町長)
前定例会でも述べましたが、地域おこし協力隊の導入は、まちづくりにおいて重要な要素の一つであり、移住定住についても有効な方策であると考え、導入に向けての体験プログラム、募集を行い、その後の起業、定住に向けて取り組みます。
サポーターズ倶楽部に関しては、会員参加型の企画をし、関係人口として今以上の強い関係をつくり、最終的に定住につなげていきたいと思います。

移住・定住が増えたとしても住宅不足という問題があり、同様に企業や各種団体の従業員用の住宅も少ないと考

【質問】
現状、町営住宅は多くの空室が生じており、町内の民間アパートや賃貸住宅も常に満室になっているわけではなく、入居希望に応じられない状態であると認識しています。
民間アパートなどの建設に対する助成事業の制度化について協議が上がった経過もありませんが、必要との判断には至っておりません。
企業、団体の社宅整備については、これまでも各企業の自己努力で行っていたため、今、今のところ町として助成を行う考えはありません。

教育費

学校図書への図書購入費交付金について

【船木】 各学校への図書購入費交付金について、北海道では学校図書の充足率が全国的に見て低い状況ですが、本町の充足率はどの程度でしょうか。

町長 市街地で消防団員が不足し、支障が生じていることは把握しています。消防業務を行っている遠軽地区広域組合の中で、本町の課題として協議を進めていきたいと考えています。

教育長 本町の学校図書の充足率については、3人集まれば消防車両1台が出動できます。

歳入

町税の収納率

【船木】 町税の予算を算定する際に、これまで収納率を96%で計算していたものを、令和3年度予算では98%で算定したと聞いてい

【高橋】 図書館の図書購入費の取扱はどの程度あるのでしょうか。

【図書館長】 現在、図書館では電子書籍は取り扱っていません。管内の他の町村においても実際に扱っている図書館はないようです。

企画財政課長 町税の収納率がこのところ99%以上で安定していることから、予算を算定する際の収納率を98%に上げました。徴収対策室を通じて、全町的に収納に努力していることから、しばらくは現状の収納率が続くと考えています。
なお、収納率を上げたのは現年度課税分についてで、滞納繰越分については含まれていません。

国民健康保険
【但木】 特定健康診査等事業費に関連して伺いますが、本町の健診受診率がここ2年低下していると聞いていますが、健診を受診しない人に対してどのような対応を考えているのでしょうか。

【町長】 今後はクリニックの指定管理者である恵尚会と新たな健診体制など協議を行い、町民の健康寿命の延伸対策を考えていきます。

介護サービス

特養介護職員を増員

【但木】 特別養護老人ホームの予算に関連して伺います。特別養護老人ホームは介護職員の不足により、入所ベッド数が60床から50床に減少した状況が続いています。今後介護職員が増える見込みはないのでしょうか。

【愛の園園長】 これまでも各教育機関を回り介護職員の募集に奔走してきましたが、福祉の専門学校への入学者も減少するなど、介護職員のなり手がいないのが現状であり、現在の入所ベッド数50床を維持するのが精一杯ではないかと考えています。

【副町長】 本町の特別養護老人ホームの介護職員は昨年まで嘱託職員としての採用でしたが、令和2年度から正職員化しており、今後の募集において以前より有利になるのではないかと考えています。

第1回定例会

・一般質問③

【質問】 国保は他の健康保険と違い、世帯人数に応じた均等割保健税がかかっています。これは子育て中など多人数世帯ほど負担が重くなるものです。全国知事会や全国市長会など地方六団体は国保税の上昇抑制と加入者の負担軽減のため、国に子供の均等割分の軽減措置を実現するように求めている中で、ようやく国も2022年度から未就学児に係る均等割額の5割を軽減することを決めました。

町は今まで様々な子育て施策に取り組んでいます。この子供の均等割分の軽減措置について、国の制度改正スタート時点から軽減の対象を

小学生まで拡大し、子育て応援をさらに進めるという考えがあるか伺います。

【答弁】(町長) 国保税の子供の均等割について町独自の軽減策を取り入れることが、子育て世代の国保加入者への支援策の一つになるというところは十分承知しているところですが、町としては計画的に国保税資産割の解消にも取り組まなければならぬことあり、国保加入者の皆様には国保税均等割について、法制度に基づく応分の負担をしていただくことを考えています。

【質問】 新型コロナウイルス感染症の拡大により、この一年子供たちの教育環境も大きく変わり、そのことが子供たちの成長や発達に与えた影響は計り知れません。また、教育現場においても大変な一年が過ぎた中、全国ではGIGAスクール構想が一気に進み、本町においても新年度から一人一台のタブレット端末が整備されることになりました。

教育現場に導入されることで改めて考えなければならぬことは、子供たちの健康面への影響ではないかと思えます。学校での利用時間は確かに短く、すぐには表面化しないとは思いますが、利用開始を契機に、子供たちや保護者

と一緒に使い方を考えていくことが必要と考えます。

今後のICTを活用した際の健康面への影響、それらに関する調査や対応について、町としての考えを伺います。

【答弁】(教育長) デジタル社会への対応と、ウィズコロナ時代における学びの保障を充実させるには、教育分野においてもICTを有効活用することは必要なことであります。

健康面への影響については視力低下、姿勢の悪化、睡眠不足などの問題が生じるとされていきますので、端末利用に関するルールやマナーなどを掲載したハンドブックを作成し、有効な利用方法を指導することともに、健康面にも配慮した正しい使い方を示す必要があります。

また、各ご家庭でのスマートフォンなどの利用方法や使用時間、生活改善も含め、健康に留意してICTを活用するための文部科学省発行のガイドブックの配布や、町ホームページでの周知など、保護者への情報提供に努めたいと考えています。

第1回定例会

・一般質問②



三田 真美 議員

役場職員及びその他の委員会等の女性登用

【質問】 国の第5次男女共同参画基本計画では、2021年からの内容として、指導的地位に占める女性の割合を可能な限り早期に30%程度にすると明記されています。しかしながら女性の個性が生かされているとは言えず、現状として女性性は社会の重要な意思決定の過程で少数派であることが実情だと思っています。

そこで、本町の職員における女性職員の比率と昇格状況および、行政関係の各委員会男女比について伺います。

また、女性職員の昇任やポストを今後どのように考えているか伺います。

【答弁】(町長) 特定事業主行動計画を策定し、積極的に取り組む事項の一つとして、女性職員の職業生活における活躍の推進を掲げるとともに具体的な目標数値として、令和2年度から7年度までの一般行政採用者における女性職員の割合について45%を維持することを明記しています。

本町の職員における女性職員の比率については、特別職を除き、再任用職員を含んだ令和2年4月1日時点における全職員数142名のうち、女性職員は59名(41.6%)で、教育委員会、簡易水道、下水道、国民健康保険、介護保険、特別養護老人ホーム職員を除

いた一般行政職の割合では、職員数96名に対し、女性職員は41名(42.7%)となっています。

また、女性職員の昇任やポストについては、基本的には男女を問わず継続年数などを考慮のうえ発令し、役職登用については、出産や子育てなどに配慮した登用を行っており、今後においても本格導入が求められている人事評価制度における能力評価の活用など、男女を問わず適材適所の配置、昇任を行っていきたいと考えています。

次に、行政関係委員会における女性委員の比率については、社会教育委員や国民健康保険および介護保険運営協議会など21の審議会があり、委員総数310名のうち、女性委員は71名(22.9%)となっています。

転入届や健康保険、年金といった各公共手続をはじめ、健康カレンダー、ごみ収集カレンダー、ごみ分別の手引、自治会連合会からの自治会、町内会への加入のお願い、もちちゃんマップなどを用いた町の説明を行っており、不明な点については後日問合せしていただくよう申し添えて、親切丁寧な対応を心がけています。

【答弁】(町長) 転入届や健康保険、年金

国保における未就学児の均等割保健税の軽減措置



但木 早苗 議員

未就学児に対する国保税均等割の軽減措置
小学生まで拡大する考えはないか

町長：国保税資産割の解消に取組むため国に準じた対応となる

教育行政推進方針を受けて

転入者への受付時の対応

【質問】 初めて佐呂間町を訪れた転入者に対して、ごみの分別方法など生活に必要な情報だけではなく、マイレージポイントなどの制度を周知することも必要だと思いますが、現在の窓口対応について伺います。

【答弁】(町長) 転入者への

議会ニュース

・議会の活動状況

第1回臨時会

第2回臨時会

・審議した議案
・町長行政報告

第1回臨時会が1月20日に開催され、議案2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

また、第2回臨時会が3月26日に開催され議案2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

第1回臨時会

■令和2年度一般会計補正予算(第8号)
2300万円が追加され予算の総額が65億7318万円になりました。

■佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金条例の制定
佐呂間高校への入学者減少を受け、高校存続に向けた更なる魅力づくりとして、佐呂間高校を卒業後に大学等へ進学する学生に対し、返済不要の修学資金を交付するための条例を制定するものです。

補助金の額	年額50万円
大学	年額25万円
短大・専門学校	年額25万円

・補助対象期間
大学などの正規の修業年限を上限とする。(留年した場合は、正規の修業年限を超えた時点で交付終了)

第2回臨時会

3月26日

予算

■令和3年度一般会計補正予算(第1号)
1億2693万円が追加され予算の総額が52億8173万円になりました。

【主な歳入】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 2049万円
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 9057万円
- ・プレミアム付商品券発行支援事業費補助金 1200万円

【主な歳出】

- ・予防接種委託料 2049万円
- ・プレミアム付全町共通商品券発行事業補助金 4579万円
- ・エアコン設置工事(小学校) 1932万円
- ・エアコン設置工事(中学校) 1012万円

■令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
66万円が追加され、予算の総額が8億3301万円になりました。

町長行政報告(要旨)

■GIGAスクール構想におけるタブレット端末導入
新型コロナウイルス感染症拡大により、「ひとり一台学習用タブレット端末」導入の方針が示され、令和3年2月20日に町内全小中学校に400台のタブレット端末が納品され、学校の通信環境整備工事も完了、光回線未整備地区の学校はモバイルWiFiを導入し通信を補完しました。3月10日には町内の教員が一堂に会し、タブレット端末の研修会を開催しており、今後は教員研修の充実や授業での活用を進めていくこととなっております。

議会の活動状況

令和3年2月～令和3年4月

令和3年4月

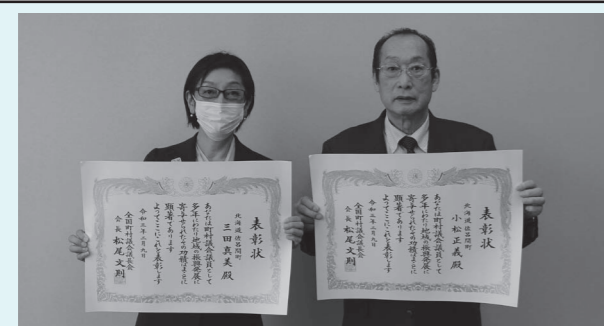
- 2月18日(木)
 - ◎総務福祉常任委員会
 - ◎産業文教常任委員会
- 2月25日(木)
 - ・才ホーツク町村議会議長会役員会(清里町)
 - ・才ホーツク町村議会議長会第4回定期総会(清里町)
- 2月26日(金)
 - ◎町立診療所に関する特別委員会
 - ◎議会活性化等特別委員会
 - ◎第7回基本条例小委員会
- 2月28日(日)
 - ・自衛隊入隊予定者壮行激励会(遠軽町)
- 3月2日(火)
 - ・第1回遠軽地区広域組合議会定例会(遠軽町)
- 3月3日(水)
 - ◎議会運営委員会
 - ◎町議会第1回定例会
 - ◎第8回基本条例小委員会
- 3月4日(木)
 - ◎町議会第1回定例会
 - ◎第9回基本条例小委員会
- 3月5日(金)
 - ◎町議会第1回定例会
 - ◎町議会第1回定例会
 - ◎町議会第1回定例会
- 3月8日(月)
 - ◎町議会第1回定例会
 - ◎第9回基本条例小委員会
- 3月9日(火)
 - ◎予算特別委員会
 - ◎議会広報特別委員会
- 3月24日(水)
 - ・才ホーツク町村議会議長会役員会(網走市)
- 3月26日(金)
 - ◎第2回全員協議会
 - ◎議会運営委員会
 - ◎町議会第2回臨時会
- 3月30日(水)
 - ◎議会広報特別委員会
 - ◎議員会総会
 - ◎第9回基本条例小委員会
- 4月16日(金)
 - ◎議会広報特別委員会
 - ◎議員会総会
 - ◎議員会役員会
 - ◎第3回基本条例小委員会

議会懇談会中止のお知らせ

町議会では議会懇談会を例年4月に開催していますが、いまだに新型コロナウイルス感染症が収束していないことを受け、残念ながら昨年に引き続き、今年の議会懇談会中止を決定しました。
なお、議会では希望される団体やグループの皆さんのところへ議員が出向いて、テーマに基づき懇談させていただき、出向き懇談会を随時受付しておりますので、興味のある方は議会事務局までお問い合わせ願います。
(議会事務局TEL2-1291)

三田副議長・小松議員 議長会から表彰

三田副議長及び小松議員の両名が、町議会議員として15年以上在職し、この間の地域の振興発展に寄与した功績に対し、全国町村議会議長会から表彰されました。
これを受けて3月4日、第1回定例会開催に先立ち表彰の伝達が行われました。



議員として15年にわたり活動されてきた三田副議長と小松議員

第2回定例会は6日に開催されます!!

日程の詳細は、町広報6月号の折込みチラシをご覧ください。
停職を希望される方はマスクの着用など感染症予防対策にご協力願います。



町で輝いている人たちを紹介します

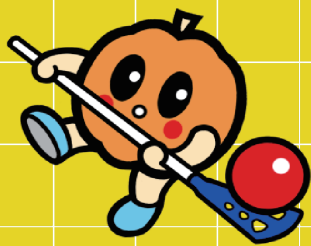
Vol.29 「佐呂間町ブルームボール協会」



(2016 ワールドブルームボールチャンピオンシップ)

みんなの笑顔で

まちを元気に!



ブルームボールは昭和58年頃に北海道に伝わり、以降、町内で愛好者が増えたことを契機に昭和60年3月に北海道で最初の協会として「佐呂間町ブルームボール協会」を発足しました。

現在、協会員数は減少傾向にあります。町内リーグ戦を毎年開催し、町内4チームが熱い試合を繰り広げています。

また、対外試合にも積極的に参加しており、シャパンカップでは何度も優勝し世界大会にも出場しています。近年では、経験年数の浅い選手でも日本代表として世界で戦っており、未経験者からでも日本代表になれるチャンスが大いにある、夢のような競技です。

新規会員は随時募集していますので、少しでもブルームボールに興味をお持ちの方はぜひご連絡ください。一緒にブルームボールを楽しみましょう!

議員のVoice



土田 剛

令和の世が始まるころ、その年号を新鮮な思いで受け止めていましたが、いざ蓋を開けてみれば地球規模の異常気象の続発に振り回され、さらに「新型コロナウイルス」の出現によって世界の政治経済までが脅かされる状況となつていきます。

過疎化の進む私達の町ですら、感染予防のため常にマスクで口を塞がれ会話もままならず、さまざまな活動が制限されておりますが、コロナ禍が一日も早く終息して自由に活動できるようになることを願うばかりです。

小鳥のさえずりが賑やかになり、桜の便りが告げられる季節となりました。こぶしや桜の咲く明日に希望を託し、日々を送りたいと思います。

編集	佐藤 昭男
委員	三田 真美
副委員長	小松 正義
委員	土田 剛
委員	山内 一弘